

中国の大卒者 日系企業に紹介

中国の人材育成の神様として、家電大手や対中進出を支援する金融機関から、講演依頼や人材紹介要請が殺到する人物がいる。静岡県三島市に本拠を置く工務店、南富士産業の杉山定久社長(63)がその人だ。

同社はユニークな住宅工法や人材活用術で知られるが、工務店といえば典型的な国内企業。それがなぜ、中国の大卒者の人材紹介ノウハウを持つのか。その秘密を解くカギは杉山社長が二十七年間、趣味

（上海市）、華中科学技術大学（武漢市）といずれも名門校ばかりだ。中でもユニークな人材育成は、三年前から大学のバックアップを得て開講した「学生創業工作室」という即戦力の人材育成コースだ。「給料」を出さないが、実践しながらビジネスの基本を身につけるインターンシップ（就業前研修）」と、杉山社長は説明する。

南富士産業

選抜し、同社がさらにふるいにかけ、優秀な十二人がメンバーだ。大学外の拠点では、南富士産業が手がける新規事業の企画提案や市場調査を行ったり、最近では学生自ら企画したニュービジネスにも挑戦している。ホームページでの商品PRなど学生側から出されるアイデアには、杉山社長は何度も感心させられた。

ユニークな
独一無二の企業

34

として中国で築いてきた大学との信頼関係と人材育成にある。

大学と信頼関係

杉山社長が中国の地を踏んだのは一九七九年。父親の勧めで静岡県が結成した視察団に参加したのがきっかけだ。それ以来、ポケットマネー(※)で中国の大学に奨学金を出したり、図書館に書籍を寄贈し続けている。

中国政府や産業界に大きな影響力を持つ名門大学の信頼を得るのは容易ではない。だが、長年にわたって築いてきた信頼関係から九〇年に上海同済大学で、九六年には武漢大学で客員教授に迎えられ、実務経営学を教える。

そのネットワーク(※)も十四大学を超え、浙江大學（杭州市）、復旦大学



武漢大学の「学生創業工作室」で、杉山定久社長の経営アドバイスに熱心に耳を傾ける学生たち

趣味がビジネスに

同社は昨年十月、中国進出支援に加えて人材紹介を本格化させるため、現地法人「万克徳商務諮訊（上海）」を設立。大学とのネットワークをここに、昨年は大卒者や経営学修士(MBA)取得者五十人を日本企業に紹介。今年には三倍の百五十人の紹介を目指している。

「趣味がまさかビジネスにつながるとは…」杉山社長の偽らざる心境だろう。中国展開を加速する日系企業にとって最大の課題は、優秀な経営幹部と幹部候補生の採用と育成といっても過言ではない。

優秀な経営幹部を採用できれば、労務管理や債権回収など他の経営課題も解決できる。しかも、日系企業は人材

採用という点では、欧米企業に比べて不利といわれる。優秀な人材ほど、成果主義が徹底する欧米企業を選択するからだ。

「中国での魅力は、優秀な頭脳確保へとシフトしている」。杉山社長の持論だ。人件費の上昇によって生産コスト面のメリットは薄れても、頭脳としての魅力が高まっているというわけだ。

中国戦略の位置づけは「世界の工場」から「市場」、さらに「研究開発」へと変化しつつある。欧米企業は早くから中国の「頭脳」に着目。大学との共同研究や寄付講座など優秀な人材の囲い込みを急ピッチで進めている。

「日本企業の発想は、中国での人件費は経費の位置づけで、いかに削るかの一点張り。今後は人材投資という発想に変える必要がある」。杉山社長は、日系企業に中国ビジネスでの戦略転換を説く。

(上原すみ子)

金曜日に掲載

【会社メモ】

- ▶ 社長・杉山定久氏
- ▶ 住所・静岡県三島市萩65の1 (☎055・988・8810)
- ▶ 設立・1970年12月
- ▶ 資本金・9800万円
- ▶ 事業内容・住宅の設計・施工、屋根工事では首都圏トップ、八角形住宅で特許を持つ